

# 銀河レポート401

No. 56  
1月号

発行日：令和2年1月2日  
編集&発行：四日市市立博物館  
天文係  
電話：059-355-2700  
HP：https://www.city.yokkaichi.mie.jp/museum/museum.html

## 1月の星空

### オリオン座

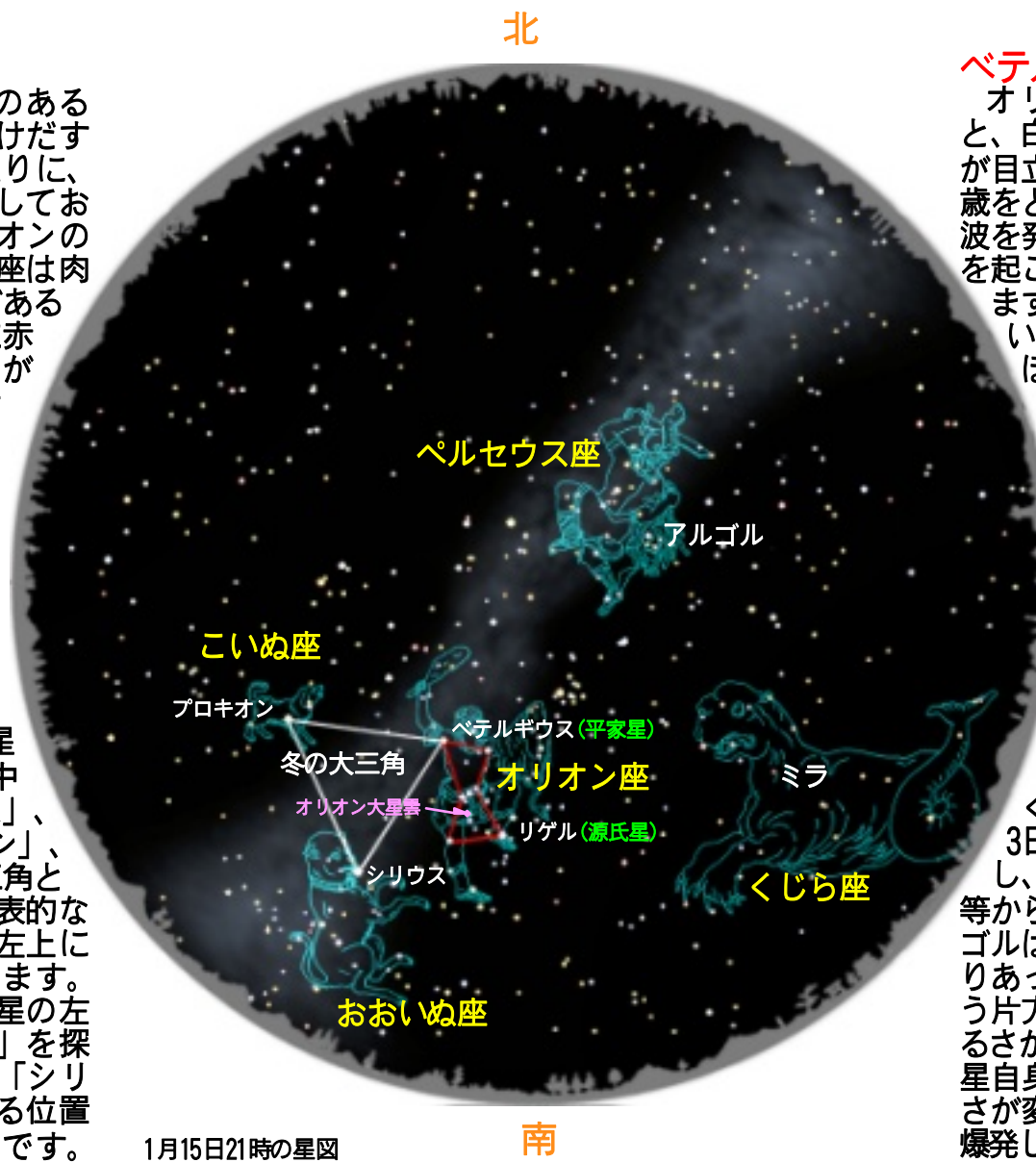
オリオン座は星座の中でも、人気のある星座の一つで、冬の空にすぐに見つけだすことができます。オリオンの腰のあたりに、同じくらいの明るさの三つ星が整列しており、その周りを囲む四つの星がオリオンの体になっています。また、オリオン座は肉眼でも見ることができる星雲（※）があることでも有名で、三つ星の下あたりに赤く光るオリオン大星雲を見つけることができます。ギリシャ神話では、オリオンは少々乱暴なところがありますが、狩りの名人として描かれています。

また、長身の美男子で、恋の物語もいくつか残されています。

※星雲…輝いた雲や煙のように見える星間ガスのかたまりからなる天体。

### 冬の三大角

冬の南の空に輝くオリオン座の1等星「ベテルギウス」、21個ある1等星の中で一番明るいおおいぬ座の「シリウス」、そして、こいぬ座の1等星「プロキオン」、この三つの星が作る三角形を冬の三大角と言います。探し方は、まずは冬の代表的な星座オリオン座を探し、見つけたら左上に輝く赤い星「ベテルギウス」を確認します。次にオリオンの腰の部分にある三つ星の左下に青白く明るく輝く星「シリウス」を探します。最後に「ベテルギウス」と「シリウス」から東方向に正三角形が結べる位置にある、白く輝く星が「プロキオン」です。



1月15日21時の星図

星図：ステラナビゲータ10/(株)アストロアーツ

### ベテルギウスとリゲル

オリオン座には赤っぽいベテルギウスと、白っぽいリゲル、この二つの1等星が目立っています。ベテルギウスは大変歳をとった大きな星で、いずれは、重力波を発生させることで有名な超新星爆発を起こして最期を迎えると予測されています。一方、リゲルはエネルギーの高い超高温の星で、やはり、数千万年ほどで燃え尽きるかもしれないと言われています。日本では、源平合戦の赤旗、白旗のイメージから、ベテルギウスを「平家星」、リゲルを「源氏星」と呼ぶこともあります。

### 西 変光星 ミラとアルゴル

冬の夜空の恒星の中には、時間とともに明るさが変化する恒星があります。そんな星を「変光星」と言います。代表的な変光星がペルセウス座のアルゴルと、くじら座のミラです。アルゴルは約3日を周期として2等から3等まで変光し、ミラは約330日という長い周期で2等から10等まで大きく変光します。アルゴルは、二つの星がお互いのまわりを回りあっている星(連星)で、片方の星がもう片方の星の前を横切って隠すために明るさが変わります。それに対してミラは、星自身が膨張したり収縮したりして明るさが変わる星です。その他に、星全体が爆発して明るさが変わるものもあります。

## 宇宙塾 第2回「宇宙エレベーター」

〈誰でも行ける? ~宇宙エレベーターの実現に向けて~〉

「エレベーターに乗って宇宙へ出かける…」そんな夢のような話を実現するための研究が進んでいます。その具体的な内容について詳しく紹介します。津工業高校の協力により、演示実験も行います。



講師：青木 義男氏

(日本大学理工学部次長・教授)

日時：2月8日(土) 18時30分から20時(開場18時15分)

場所：5階 GINGA PORT 401(プラネタリウム)

定員：140席

※当日9時30分から1階総合受付にて座席券を配布(1名様につき1席分まで)

料金：無料

※中学生以下は保護者同伴

## 12月のガリレオ教室 報告

〈日食のひみつ〉

12月8日(日)にガリレオ教室を実施しました。日本で、12月26日に部分日食が見られる機会をとらえて、日食のしくみや特徴について、映像やモデル実験を見て楽しく学習しました。また、日食の観察の仕方や注意事項についても説明がありました。



## 1月のガリレオ教室

〈今年の星たち〉

今年はどうな星空が楽しめるのか、四季それぞれの注目の天文現象について、天文ボランティアがわかりやすく解説します。

〈日時〉

1月12日(日)

①11時から11時20分

②14時から14時20分

〈場所〉

5階コズミックラウンジ



## ★★観望会★★

《天文ボランティア主催観望会》

日時：1月18日(土)

時間：18時から19時30分

場所：博物館前市民公園

内容：冬の星(すばる)を見よう

※天候不良時は中止です。

※当日は自由参加・無料です。

※きらら号は出勤しません。

《博物館主催きらら号観望会》

日時：1月25日(土)

時間：18時から19時30分

場所：博物館前市民公園

内容：金星とすばるを見よう

※天候不良時は中止です。

※当日は自由参加・無料です。

## 1月の月

3日



上弦

11日



満月

17日



下弦

25日



新月

## 編集後記

新年を迎えました。今年、夏至の6月21日に日本で部分日食が見られます。台湾では金環食となりますので、日本の南ほど太陽が大きく欠けて見えます。また、10月には火星が2年2か月ぶりに地球に大接近します。そして、年末には小惑星探査機はやぶさ2が採集したサンプルを地球に届けてくれる予定です。オリンピックも含めてワクワクする年となりそうですね。